



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月28日

上場会社名 パナソニック デバイスSUNX株式会社  
 コード番号 6860 URL <http://panasonic.net/id/pidsx/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒谷 悦司  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理担当 (氏名) 宮下 英二

TEL 0568-33-7211

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	29,981	7.8	2,531	18.2	2,682	23.1	1,821	26.0
25年3月期第3四半期	27,801	△7.7	2,140	△12.8	2,179	△8.9	1,445	31.8

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 2,376百万円 (44.3%) 25年3月期第3四半期 1,647百万円 (58.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	32.36	—
25年3月期第3四半期	25.69	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	36,454	30,138	82.1	532.13
25年3月期	36,328	28,345	77.5	500.62

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 29,945百万円 25年3月期 28,172百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.5	3,500	18.2	3,500	13.3	2,200	14.4	39.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	56,457,898 株	25年3月期	56,457,898 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	183,336 株	25年3月期	183,199 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	56,274,643 株	25年3月期3Q	56,275,643 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月～12月）における世界経済は、米国においては消費や雇用情勢が堅調に推移し回復基調となりましたが、欧州においては緩やかな景気回復基調に転じてはいるものの下振れ懸念は払拭されず、さらに、中国をはじめとする新興国では減速の兆しがみられ、総じて、世界経済は不透明な状況の中で推移いたしました。また、わが国経済においても、政府の経済政策への期待などにより、円安の進行と株式市場の好転により景況感は改善傾向にあるものの、設備投資の回復は鈍く、実体経済は確実な回復までには至っていない中で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、中国において地産地消（企画開発・調達・生産・販売・サービスの現地化）を一層進めるなど、積極的かつ継続的に経営資源を投入したことにより、現地企画開発の新商品が社会インフラ設備関連やスマートフォン・タブレット製造設備関連に拡大しました。その結果、海外の売上高は、為替影響も起因し12,038百万円（前年同期比29.7%増）となり第3四半期累計ベースで過去最高の実績となりました。一方、国内の売上は、主要顧客であるIT関連（半導体・液晶関連、自動組立機械関連業種）向けなどが回復せず、売上高は17,942百万円（同3.1%減）となりました。

以上の結果、売上高は29,981百万円（同7.8%増）、営業利益は2,531百万円（同18.2%増）、経常利益は2,682百万円（同23.1%増）、四半期純利益は1,821百万円（同26.0%増）となりました。

## セグメント別の状況

## ・センシングコントロール事業（FA用センサ、PLC、プログラマブル表示器など）

国内においては主要顧客であるIT関連向けの売上が回復せず苦戦しましたが、中国において地産地消戦略が奏功し、新商品の売上が貢献するとともに、工場設備自動化の需要の高まりを受けて既存商品の売上も増加いたしました。その結果、センシングコントロール事業の売上高は18,008百万円（同13.3%増）、セグメント利益は2,952百万円（同20.1%増）となりました。

## ・プロセッシング機器事業（レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置など）

国内においては設備投資の回復が鈍く苦戦しましたが、中国及び台湾においてスマートフォン・タブレット製造設備関連の投資需要の高まりを受け、プロセッシング機器事業の売上高は6,128百万円（同1.8%増）、セグメント利益は348百万円（同8.4%減）となりました。

## ・Eco・カスタム事業（エコ関連商品、カスタム商品など）

エコ関連商品においては、使用電力の見える化を実現した電力監視機器「エコパワーメータ」に加え、温湿度・照度センサ、データ伝送用の「無線ユニット」や、省エネ制御用の「コントロールユニット」など、ラインアップを強化してまいりました。その結果、エコ関連商品の売上高は好調に推移しましたが、カスタム商品の売上高が減少し、Eco・カスタム事業の売上高は5,843百万円（同0.7%減）、セグメント利益は436百万円（同17.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は36,454百万円となり前連結会計年度末に比べ126百万円の増加となりました。

## (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ260百万円増加し、25,622百万円となりました。主な内容は預け金が1,957百万円増加したことで受取手形及び売掛金が850百万円減少したこと等によるものです。

## (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ134百万円減少し、10,832百万円となりました。主な内容は有形固定資産が183百万円減少したことによるものです。

## (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ1,467百万円減少し、4,450百万円となりました。主な内容は短期借入金500百万円、未払法人税等が512百万円減少したことによるものです。

## (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ201百万円減少し、1,864百万円となりました。主な内容は退職給付引当金が190百万円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,793百万円増加し、30,138百万円となりました。主な内容は四半期純利益1,821百万円による増加と、配当金支払562百万円の減少等によります。

当第3四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより9,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,609百万円、売掛債権の減少による資金の増加939百万円、法人税等の支払による資金の減少1,085百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは2,786百万円となり前年同四半期に比べ382百万円収入が減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、預け金の預入による支出等により1,722百万円の支出となり、前年同四半期に比べ488百万円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額577百万円、短期借入金の返済による支出536百万円等により1,114百万円の支出となり、前年同四半期に比べ356百万円支出が増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月25日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,654	4,989
受取手形及び売掛金	4,356	3,506
商品及び製品	1,875	1,948
仕掛品	471	582
原材料及び貯蔵品	2,711	2,634
預け金	8,759	10,716
その他	1,536	1,254
貸倒引当金	△3	△11
流動資産合計	25,362	25,622
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,828	3,828
その他(純額)	5,882	5,698
有形固定資産合計	9,710	9,527
無形固定資産		
投資その他の資産	414	500
その他	849	804
貸倒引当金	△8	—
投資その他の資産合計	840	804
固定資産合計	10,966	10,832
資産合計	36,328	36,454
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,413	2,329
短期借入金	500	—
未払金	870	775
未払費用	575	526
未払法人税等	649	137
賞与引当金	746	475
その他	161	206
流動負債合計	5,917	4,450
固定負債		
退職給付引当金	1,959	1,769
その他	106	95
固定負債合計	2,065	1,864
負債合計	7,982	6,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	14,178	15,437
自己株式	△64	△64
株主資本合計	27,804	29,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	42
為替換算調整勘定	332	839
その他の包括利益累計額合計	367	882
少数株主持分	173	193
純資産合計	28,345	30,138
負債純資産合計	36,328	36,454

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	27,801	29,981
売上原価	19,413	21,231
売上総利益	8,387	8,749
販売費及び一般管理費	6,246	6,218
営業利益	2,140	2,531
営業外収益		
受取利息	16	30
受取配当金	2	2
受取地代家賃	25	25
為替差益	31	94
その他	5	11
営業外収益合計	81	164
営業外費用		
支払利息	16	5
不動産賃貸費用	5	4
その他	22	3
営業外費用合計	43	13
経常利益	2,179	2,682
特別利益		
固定資産売却益	3	4
特別利益合計	3	4
特別損失		
固定資産除却損	16	30
社名・ブランド変更費用	25	—
子会社整理損	—	45
特別損失合計	42	76
税金等調整前四半期純利益	2,140	2,609
法人税、住民税及び事業税	491	582
法人税等調整額	190	185
法人税等合計	682	767
少数株主損益調整前四半期純利益	1,458	1,841
少数株主利益	12	20
四半期純利益	1,445	1,821
少数株主利益	12	20
少数株主損益調整前四半期純利益	1,458	1,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	8
為替換算調整勘定	194	526
その他の包括利益合計	188	534
四半期包括利益	1,647	2,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,624	2,336
少数株主に係る四半期包括利益	23	40



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,140	2,609
減価償却費	924	906
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△198	△190
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△242	△271
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
受取利息及び受取配当金	△18	△32
為替差損益 (△は益)	△12	△35
支払利息	16	5
有形固定資産除売却損益 (△は益)	13	26
売上債権の増減額 (△は増加)	2,346	939
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,238	13
仕入債務の増減額 (△は減少)	95	△125
未払金の増減額 (△は減少)	36	△51
その他	119	52
小計	3,979	3,845
利息及び配当金の受取額	18	32
利息の支払額	△16	△5
法人税等の支払額	△812	△1,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,169	2,786
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預け金の預入による支出	△5,000	△6,000
預け金の払戻による収入	—	5,000
定期預金の払戻による収入	3,600	—
有形固定資産の取得による支出	△658	△501
有形固定資産の売却による収入	9	25
無形固定資産の取得による支出	△161	△246
その他	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,210	△1,722
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△210	△536
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△547	△557
少数株主への配当金の支払額	—	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△758	△1,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	131	342
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	331	292
現金及び現金同等物の期首残高	8,182	9,413
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,513	9,706

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に製品別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「センシングコントロール事業」、「プロセッシング機器事業」、「E c o・カスタム事業」の3つを報告セグメントとしております。

「センシングコントロール事業」は、F A用センサ、P L C、プログラマブル表示器等を、「プロセッシング機器事業」は、レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置等を、「E c o・カスタム事業」は、エコ関連商品、タイマ、カウンタ、カスタム商品他等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	15,891	6,022	5,886	27,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	15,891	6,022	5,886	27,801
セグメント利益	2,457	380	526	3,364

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	18,008	6,128	5,843	29,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	18,008	6,128	5,843	29,981
セグメント利益	2,952	348	436	3,737

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	3,364	3,737
全社費用(注1)	△1,252	△1,240
調整額(注2)	28	34
連結財務諸表の営業利益	2,140	2,531

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。